

2010年にグローバルな工業品先物市場を実現する10のアクション(Plan-Do-Check-ActのDoが大事！)

2010年に10のアクションを実行: 目標は東京工業品取引所の一日平均出来高17万枚(前年は11.9万枚、本年1月は14.4万枚)

➡ 将来はアジア経済の持続的な成長を支えるプラットフォームを目指す

10のアクション (1)~(10)

証券市場等と商品市場の連携の強化

- (1) 証券取引所と商品取引所との連携の取組みを推進する。
 - ・投資信託、ETFにより証券市場の資産を商品市場で運用。
 - ・相互乗り入れによる参加者の利便性の向上
- (2) 石油の店頭市場(OTC市場)との連携の促進による石油市場の活性化

商品先物市場への参加者の拡大

- (3) 機関投資家、産業界等に対し商品市場の機能の理解醸成と利用の働きかけ

アクセスの改善による参入促進

- (4) アクセスの見直し(国内外の投資家、事業者)
 - ・取引所にいつでもアクセス可能にする(24時間化の実現)。
 - ※取引休止時間帯: 午後3時半~午後5時、午後11時~午前9時
 - ・取引所システムに海外から直接アクセス可能にする。

- (5) グローバルスタンダードなルールの導入

- (6) 商品市場を利用した結果、適用される税制の見直し

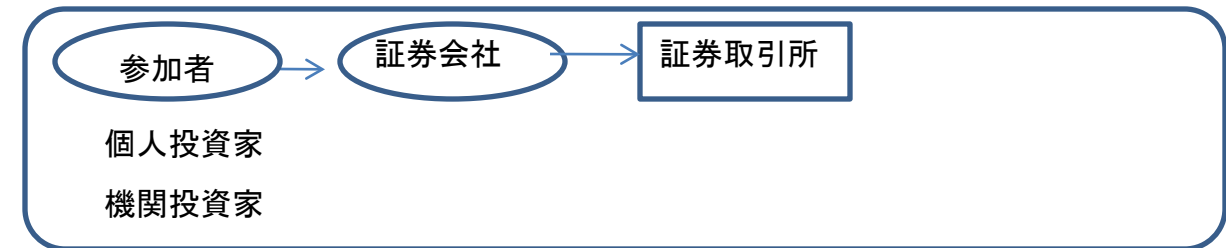
投資家のリスク管理意識の高まりに応える行政と商品取引員ビジネス

- (7) 取引所への重要なチャンネルである商品取引員のビジネスモデルを見直す。
- (8) 相場操縦など不正行為に対し、市場分析・監視を強化する。

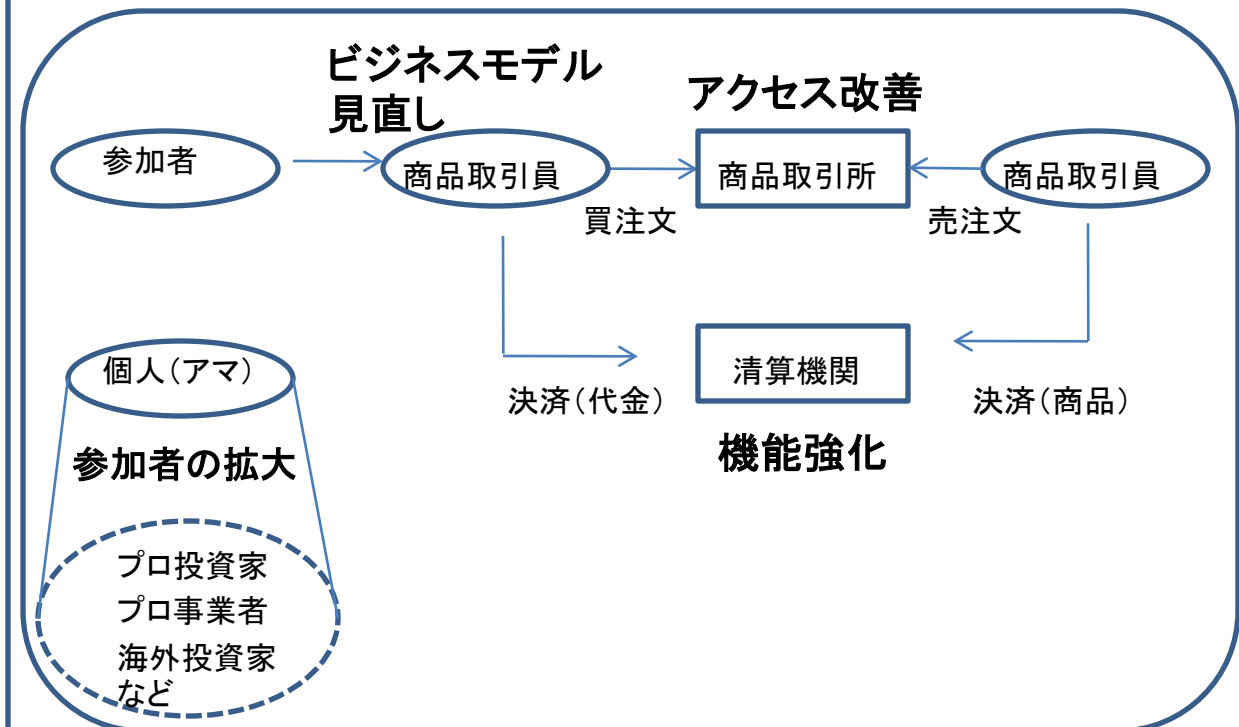
商品取引の清算機関の機能強化

- (9) 清算機関での決済を担保する証拠金制度を見直す。
- (10) 清算機関自体の信頼性・確実性を向上させるため、財務基盤の強化。

証券市場



商品市場



連携の強化

(参考) 商品市場と証券市場の規模
 東京工業品取引所の金市場規模: 約4400億円(2009年末の未決済残高をもとに試算)
 なお、世界全体の金先物市場は約4.5兆円、これまで算出した金の総額は約450兆円という試算あり。

東京証券取引所の株式時価総額: 約308兆円(2009年末)